

ご愛読者の皆さまへ ~定期購読申し込みのお願い~

いつもThe Watch & Jewelry Todayをご愛読いただき、有難うございます。
これまで無料でご愛読いただいていた皆様の郵送を順番にお止めさせていただいております。
ご購読を希望する場合は、右のQRコードよりご登録をお願いいたします。
定期購読料は、年間8500円です。宜しくお申し込み申し上げます。
お問い合わせ=時計美術宝飾新聞社 (TEL:03-3833-1886 FAX:03-3833-1886)



保険のご相談は(株)東時へ 本社:03-5817-0353 西日本支社:06-6252-4477

SUZUHO logo and contact information: 株式会社 鈴峯 本社 東京都品川区上大崎3-14-34 TEL.03-6859-0085

Quality logo and publisher information: (株)時計美術宝飾新聞社 編集発行人 藤井正義 〒110-0015 東京都台東区東上野1-26-2

THE WATCH & JEWELRY TODAY logo and W&J stylized logo.

作りたい!が広がる。見て、仕入れて、学べる3日間
西日本最大の神戸国際宝飾展に460社 88万点
5月15日(木)~17日(土)

神戸国際宝飾展は西日本最大の宝飾展。29回目を迎える今年も過去最大の規模で開催され、注目を集めている。会場は神戸国際展示場。時間は10時~18時(最終日は17時)。主催は、RX Japan(株)。
全国ははじめ海外から宝飾卸・メーカーなど460社が出展する(見込み)。出展商品は多岐にわたり、ライトジュエリーから高級ジュエリー、素材・パーツ・工具、天然石・宝飾ルースなど、唯一無二の造形美が魅力の鉱物まで88万点が一堂に並び、商品を実際に見て仕入れることができる機会となる。さらに特別価格商品もあるように、限なく会場内を探すと価格だけではない特別な商品が見つかるかもしれない。事前に出品商品や出展社を公式ホームページで検索できるので、ある程度欲しい商品を絞っておくことも肝心だ。

市場競争を勝ち抜きたい。会場ではジュエリー製作に最適な素材・パーツは50万点に及び、制作に欠かせない工具なども入手可能。製作したいものに合わせた素材・パーツを探そう。素材・パーツを探しながら「ここからどんなジュエリー・アクセサリーができるかな?」とイメージしながら会場を見て回るもよし。仕入れの場としてだけでなく、トレンドや最新デザインを学ぶほか、様々な情報収集の場としても役に立つだろう。また、作家向けセミナーで学びスキルアップに役立つなど、自分自身の興味次第で展示会が何倍にも役に立つので活用したい。
学ぶセミナーは、会期2日目の16日(金)と17日(土)に開催される(申し込み不要だが立ち見の可能性もある)。



16日11時から、「顧客を魅了するダイヤモンド販売:最先端テクノロジーを活用した実践セミナー」と題し、Sarine Technologies Ltd Sarine APACマネージングディレクターのエルラム ノイ氏による、最先端のテクノロジーを駆使したダイヤモンドの個性を最大限に引き出す方法やス

トーリーテリングの技術を用いて顧客を魅了する方法など実践的なノウハウを紹介する。
16日14時から、「社員がインフルエンサーに! 県外の顧客をつかむSNSマーケティング戦略」をテーマに、宝飾小売店が地元以外の商圏を広げることが急務とする中、欄ラシエの鈴木晃司代表取締役社長



が独自の販売哲学により社員(TIARA店長の杉田晴奈氏)をインフルエンサーとして活用し、県外からの顧客集客。売上獲得に成功した事例を交えながら、Q&A形式で受講者の疑問に答えるという。
16日15時30分からは「GIAの真珠鑑別と最新アップデート」。宝石の中でも形成プロセスがユニークな存在である真珠は、宝石とジュエリーの取引において重要な役割を担っている。真珠には様々な色や形があり、貝の中で自然に形成されるものもあれば、養殖もある。真珠の品質と価値を評価する際には、考慮すべき様々な要素もある。同セミナーでは、GIA香港よりGIA



天然宝石輸入卸 (株) 萩原 営業所 東京都文京区湯島4-6-11 湯島ハイツワンA館503号 TEL (3811) 6288 東京都文京区白山5-30-5 TEL (3941) 5614

11時のテーマは「賢い仕入れから売上・利益アップ! 商品価格のキホンの考え方」で、14時は「SNSで目をひく! 選ばれる商品写真の撮影ノウハウ」の2本を、ハンドメイド物販コンサルタントの欄ラシエ代表取締役の山口実加氏が説明する。



シニア・ジェモロジストのシェリル・オー氏が来日し、GIAで天然や養殖などどのように検査されるのか、GIAの真珠検

山梨県は、同県でしか手に入らない高付加価値な製品のグローバル市場でのブランド化を目指す。『山梨県立美術館附属山梨デザインセンター連携 土産品高付加価値化支援事業「山梨デザインプロジェクト〜山梨が生み出す新しいカタチ〜」』を令和6年度よりスタートしている。

初年度である今回は、「和紙」「水晶」「織物」に携わる県内事業者3社(欄大直、欄問問宝彫刻、TSUGUO)と、世界を舞台に活躍する日本人デザイナー3名(プロダクトデザイナー深澤直人氏、プロダクトデザイナー柴田文江氏、テキスタイルデザイナー須藤玲子氏)が製品を共同開発。3月10日に山梨デザインセンターセンター長の永井一史氏と3名のデザイナー、3社の県内事業者などが登壇した新製品発表会を開催し、続いて山梨県立美術館に

て、山梨ならではの技術や魅力が国内外に広がることを期待している」とコメントしている。
またトークセッションでは深澤直人氏が「山梨で育ち世界で活躍する我々品として採用されるほか、百貨店や空港などで順次販売が予定されている。山梨県観光振興課齊藤七二課長は「山梨の歴史と風が育んだ技術と、世界で活躍するデザイナーの想像力が結び付き、新たな九つの素晴らしい製品が誕生。見て触れて、日常で使いたくなるような心を動かす九つの製品を通じ

金峰山一帯を中心に、豊かな水晶資源を有する山梨。この地で最初に水晶が発見されたのは約1,100年前。今では企画・デザインから原料調達、研磨・加工、流通まで全工程が連携する世界的にも稀有なジュエリーの集積地へと発展を遂げている。今年度は、ショットグラス、ペーパーウェイト(2モデル)の2品を制作。これに携わった欄問問宝彫刻の欄問問二氏は「初めは柴田さんに10・12・18面体の3種類の制作を依頼され、さすがに18面体は難しかったのですが、12面体に挑戦してみたら実現させることができました」と述べるとともに、「山梨はジュエリーの街として知られていますが、宝彫刻はその根源にある。この事業を機会に、宝彫刻という伝統工芸に注目していただきたい」と

山梨デザインプロジェクト 著名デザイナーと 県内事業者の共同開発



FD.P Lab Fixture Display & Packaging Laboratory advertisement with QR code and contact info.

村田宝飾 MURATA JEWELRY advertisement featuring The Jewelry Concierge and QR code.

Kuwayama advertisement for rings with QR code and contact info.

KOHSAI 業者向け卸売 ONLINE SHOP GRAND OPEN advertisement with QR code and contact info.

LANVIN COLLECTION advertisement for jewelry with contact info.

甲府メッキ advertisement for plating services with QR code and contact info.